

# Care and Maintenance

INKJET PRINTER  
**TS330-3200 DS**

## お手入れのお願い

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

# 目次

はじめに .....	3
安全にお使いいただくために .....	4
シンボルマーク表示について .....	4

## メンテナンス

1. メンテナンスに関するご注意 .....	6
2. メンテナンスの方法 .....	7
メンテナンス項目とタイミング .....	7
インクのメンテナンス .....	8
キャップゴムの清掃 .....	8
キャリッジ底面の清掃 .....	9
ワイパーの清掃 .....	10
フラッシングユニットの清掃 .....	12
DAS（自動補正機能）センサーの清掃 .....	12
インク受けスパーサーの清掃 .....	13
インクスロープの清掃 .....	14
インク排出経路の洗浄 .....	14
メディアセンサーの清掃 .....	15
メディア押さえ、布押さえの清掃 .....	16
ジャムセンサー検出板の清掃 .....	17
プラテン、プラテンワイヤーの清掃 .....	18
ピンチローラー、グリットローラーの清掃 .....	18
引っ張りローラーの清掃 .....	19
カバー（外装）の清掃 .....	20
長期間使用しないときは .....	20
3. 消耗品の交換 .....	23
消耗品を交換するタイミング .....	23
ワイパーの交換 .....	24
ワイパークリーナーの交換 .....	25
キャップの交換 .....	27
ステーション周辺の吸収材の交換 .....	29
排気ファンフィルターの交換 .....	32
フラッシングユニットの吸収材の交換 .....	33
ピンチローラーの交換 .....	36
メディア押さえ、布押さえの交換 .....	37
インク供給ユニットのインク吸収材の交換 .....	43
廃インクタンクの交換 .....	44

# はじめに

この度はインクジェットプリンターTS330-3200DSをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、お手入れのお願い（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2024 株式会社ミマキエンジニアリング

## ● 免責事項

- TS330-3200DS（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことよって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

# 安全にお使いいただくために

## シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

# メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。  
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

# 1. メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテナンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

## ⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



## 注記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

## 2. メンテナンスの方法

### メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
3日に1度、作業を始めるとき	インクを振ってください。☞ 「インクのメンテナンス」 (P. 8)
3日に1度、もしくは3日以上使わないとき	フラッシングユニットを清掃してください。☞ 「フラッシングユニットの清掃」 (P. 12)
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 8)
	キャリッジの底面を清掃してください。☞ 「キャリッジ底面の清掃」 (P. 9)
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞ 「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」 (P. 44)
メディア交換時	インク受けスパーサーを清掃してください。☞ 「インク受けスパーサーの清掃」 (P. 13)
	引っ張りローラーを清掃してください。☞ 「引っ張りローラーの清掃」 (P. 19)
	インクスロープを清掃してください。☞ 「インクスロープの清掃」 (P. 14)
1か月に1度	ワイパー周辺を清掃してください。☞ 「ワイパーの清掃」 (P. 10)
	DASセンサーを清掃してください。☞ 「DAS (自動補正機能) センサーの清掃」 (P. 12)
	インク排出の経路を清掃してください。☞ 「インク排出経路の洗浄」 (P. 14)
	メディアセンサーを清掃してください。☞ 「メディアセンサーの清掃」 (P. 15)
	メディア押さえ、布押さえを清掃してください。☞ 「メディア押さえ、布押さえの清掃」 (P. 16)
	ジャムセンサー検出板を清掃してください。☞ 「ジャムセンサー検出板の清掃」 (P. 17)
	プラテンを清掃してください。☞ 「プラテン、プラテンワイヤーの清掃」 (P. 18)
	ピンチローラー、グリットローラーを清掃してください。☞ 「ピンチローラー、グリットローラーの清掃」 (P. 18)
	カバー (外装) を清掃してください。☞ 「カバー (外装) の清掃」 (P. 20)
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞ 「長期間使用しないときは」 (P. 20)

### メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

## インクのメンテナンス

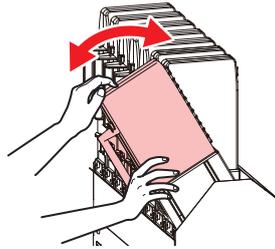
インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

3日に1回程度。

- 重要!** ・ インク供給ユニットからインクエコケースを抜かないように振ってください。インクエコケースが外れるとインクが漏れるおそれがあります。

### 1 インクエコケースを10回程度ゆっくりと振る。

- ・ インクエコケースの上部を押さえながら手前に前後します。



- ・ 必ずインクエコケースの上部を押さえながら手前に前後してください。上部を押さえないとインクエコケースが抜けて、インクが漏れるおそれがあります。

## キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割があります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。



- ・ クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

### 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

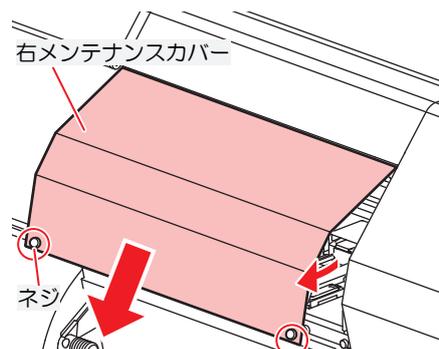
- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

### 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

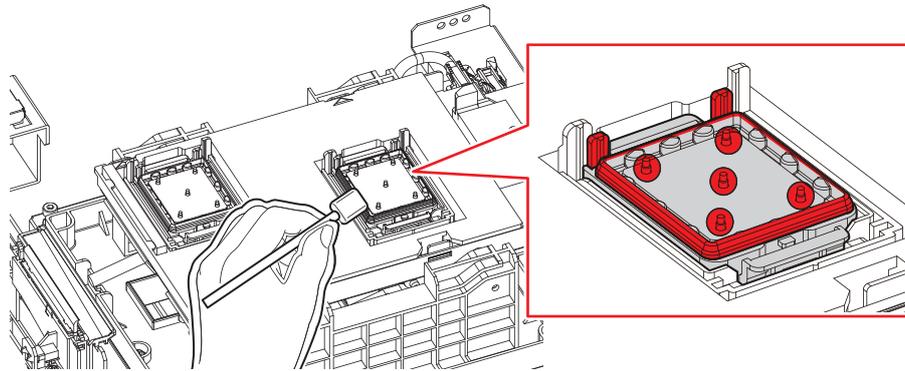
### 3 右側のメンテナンスカバーを開く。

- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。



#### 4 キャップゴムを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ、メッシュ固定部）の部分を清掃します。



#### 5 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

### キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

#### 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

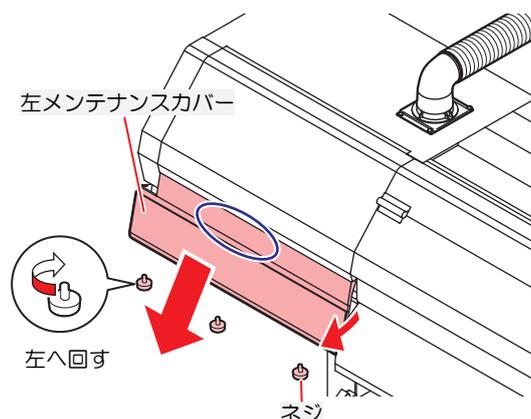
- メンテナンスメニューが表示されます。

#### 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

#### 3 左側のメンテナンスカバーを開く。

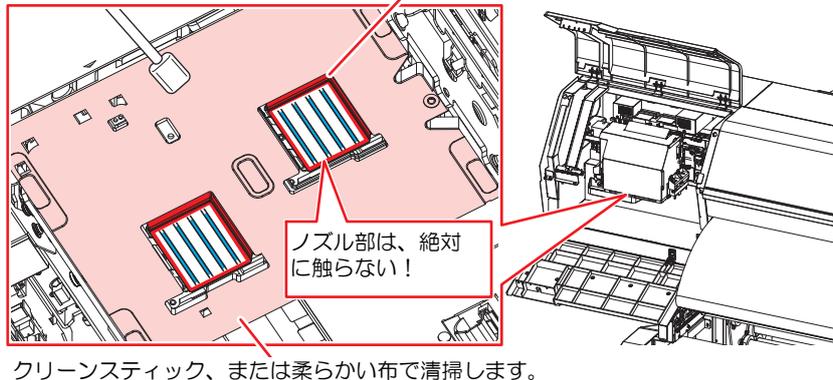
- (1) メンテナンスカバー下のネジ（3箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、青丸部分を押し、下から手前に引くようにして取り外す。



#### 4 プrintヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

プリントヘッドの側面とノズルプレート全周は、クリーンスティックで清掃します。



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。

#### 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

### ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。ワイパーが汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

#### 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

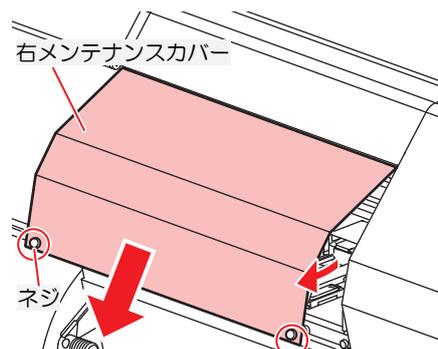
- メンテナンスメニューが表示されます。

#### 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがプラテン上に移動します。

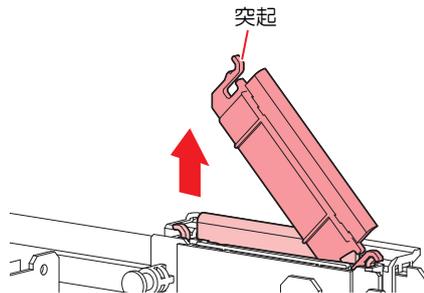
#### 3 右側のメンテナンスカバーを開く。

- 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
- メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。



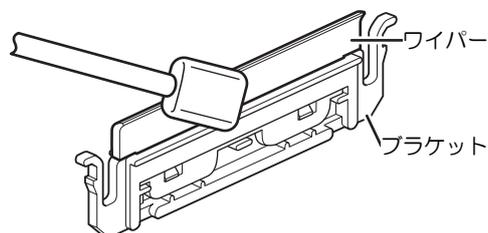
## 4 ワイパーを外す。

- ・ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。



## 5 ワイパーとブラケットを清掃する。

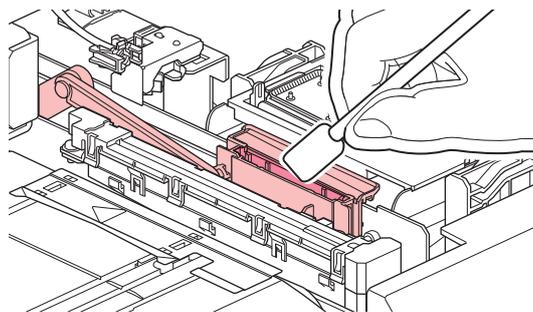
- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



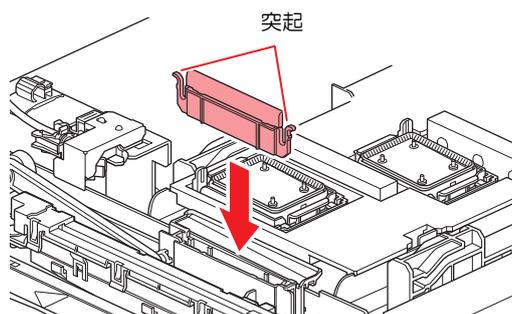
- ・ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。ワイパーの交換

## 6 ワイパーライダーを清掃する。

- ・メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



## 7 ワイパーを元の位置にセットする。

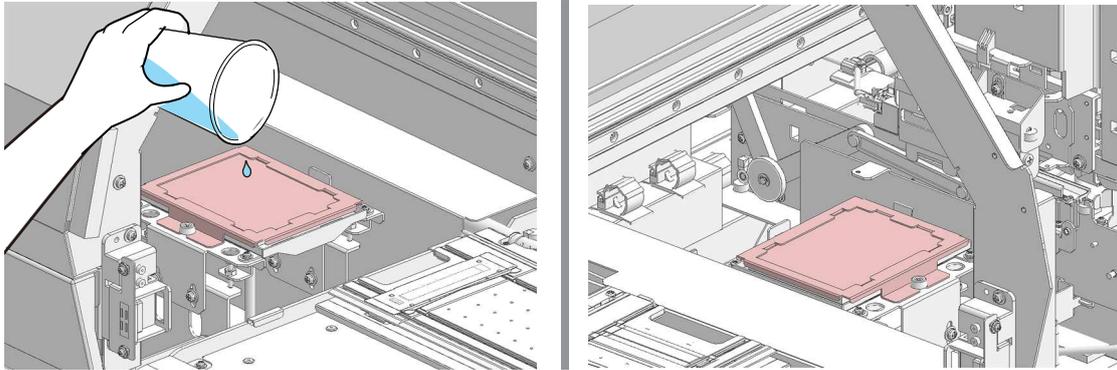


## 8 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

### フラッシングユニットの清掃

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

#### 1 水、またはメンテナンス液を左右のフラッシングユニットにそれぞれ100ccを少しずつ静かに流す。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

### DAS（自動補正機能）センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（メディア設定メニュー）が実行できないおそれがあります。

#### 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

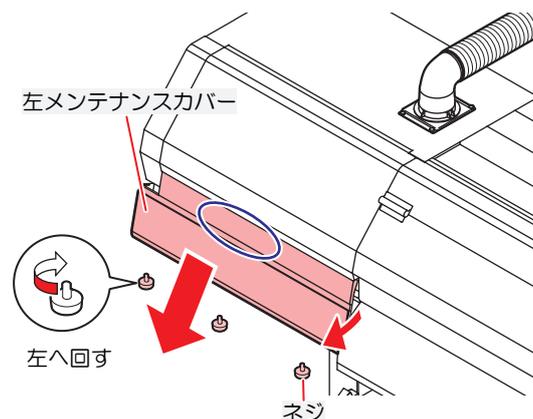
- メンテナンスメニューが表示されます。

#### 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

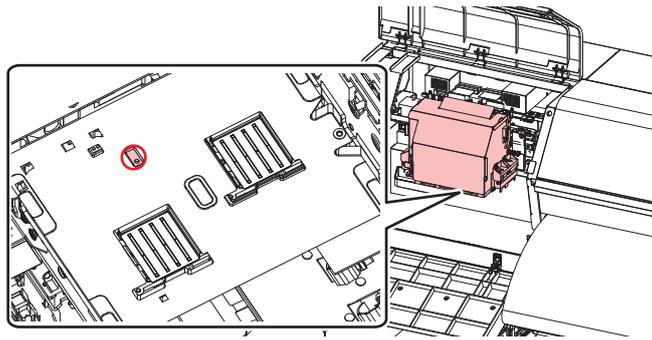
#### 3 左側のメンテナンスカバーを開く。

- (1) メンテナンスカバー下のネジ（3箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、青丸部分を押し、下から手前に引くようにして取り外す。



#### 4 DASセンサーを清掃する。

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

#### 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

### インク受けスパーサーの清掃

メディア交換時などインク受けスパーサーに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して、洗浄します。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 本機にインク受けスパーサーを取り付けた状態で、直接水を流さないでください。

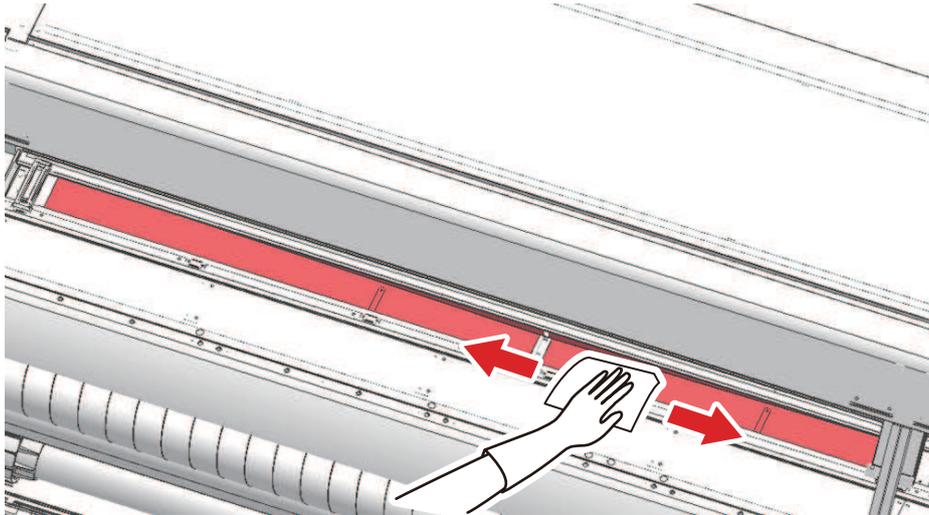


- 汚れが目立つときは、インク受けスパーサーを取り外し、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

## インクスロープの清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 水を直接インクスロープに流さないでください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

## インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

### 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

### 2 [ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。

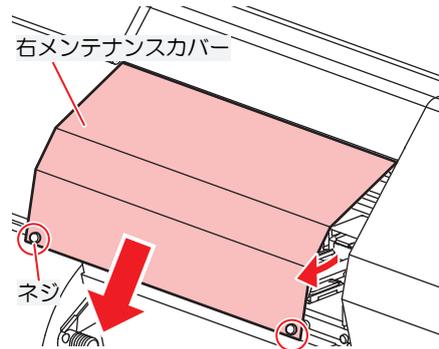
- キャップにメンテナンス液が満たされます。



- カバーを閉じてください。カバーが開いたままだと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

### 3 右側のメンテナンスカバーを開く。

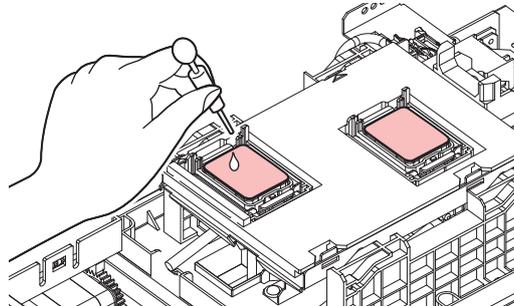
- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。



- キャップの半分程度メンテナンス液が入っているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。

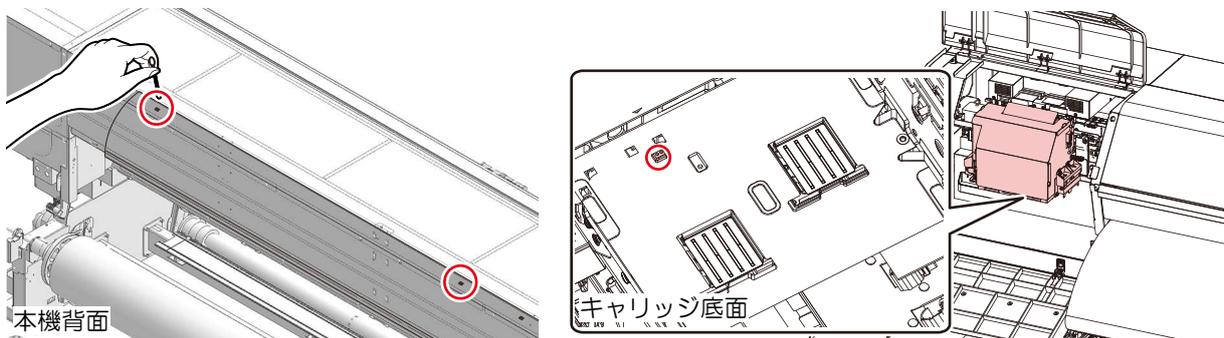


### 4 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

## メディアセンサーの清掃

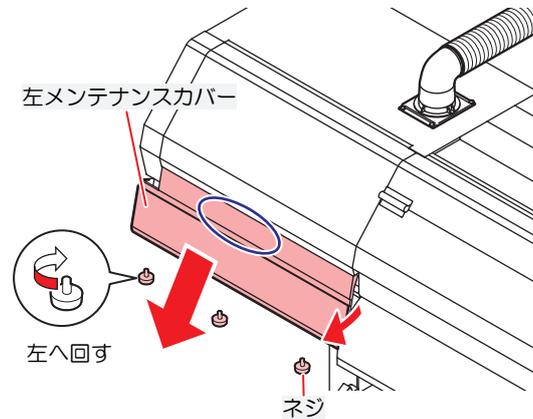
背面側のプリカバー（2箇所）とキャリッジ底面に、メディアセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、メディアの誤検出の原因になります。綿棒や柔らかい布で取り除いてください。



### ● キャリッジ底面のセンサーを清掃するときは

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。

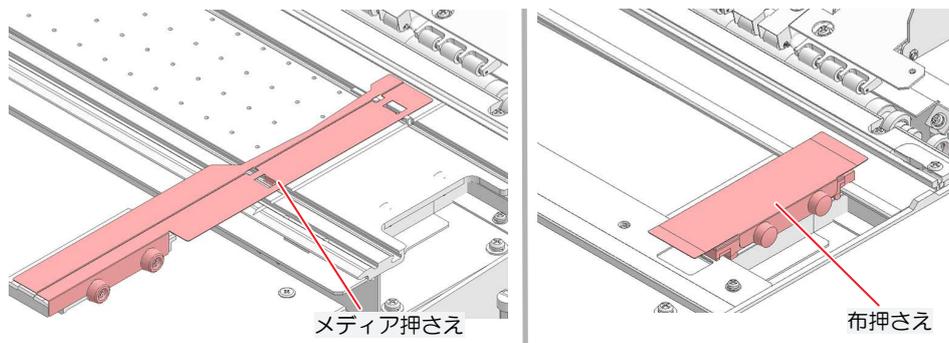
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。
  - (1) メンテナンスカバー下のネジ（3箇所）を左に回して取り外す。
  - (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、青丸部分を押し、下から手前に引くようにして取り外す。



- 4 メディアセンサーを清掃する。
- 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

## メディア押さえ、布押さえの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- ・ 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

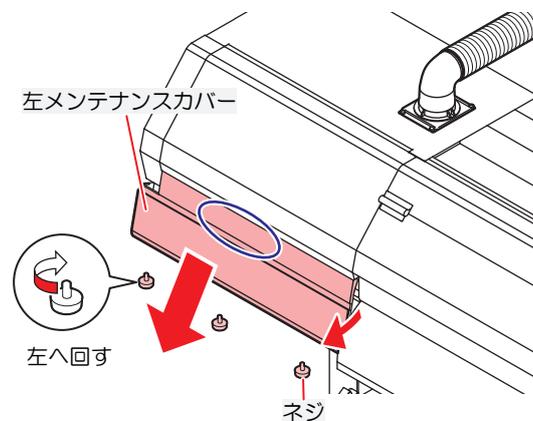


- ・ アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

## ジャムセンサー検出板の清掃

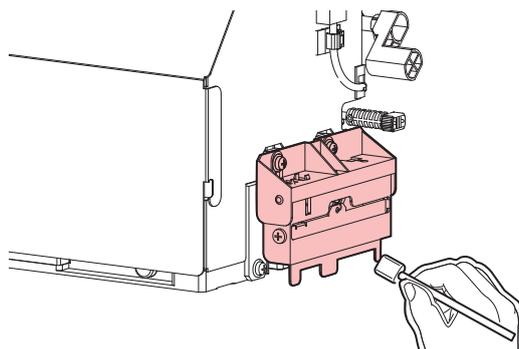
汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがメンテナンススペースに移動します。
- 3 左側のメンテナンスカバーを開く。
  - (1) メンテナンスカバー下のネジ（3箇所）を左に回して取り外す。
  - (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、青丸部分を押し、下から手前に引くようにして取り外す。



## 4 ジャムセンサー検出板を清掃する。

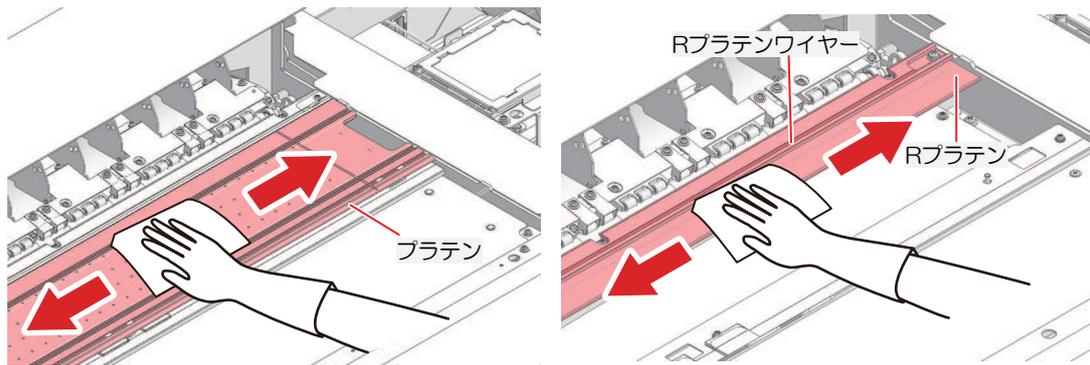
- ・ キャリッジ左右のジャムセンサー検出板の下部を清掃します。
- ・ メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



## 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

## プラテン、プラテンワイヤーの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 水を直接プラテンに流さないでください。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアを裁断する溝は、ゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。



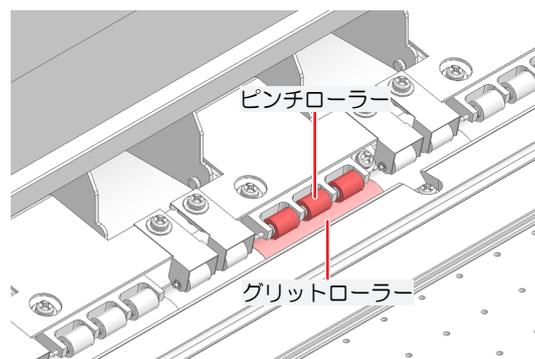
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

## ピンチローラー、グリットローラーの清掃

汚れたまま使い続けると、メディアが正しくフィードできなくなります。また、固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。



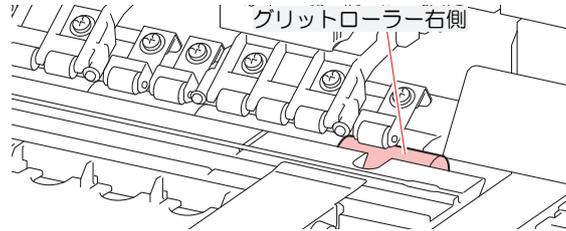
- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。

## ● グリットローラーの場合

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 樹脂ブラシを使ってグリットローラーの表面を軽く数回こすり、汚れを除去する。
  - ・ 指でグリットローラーの右側を回しながら全周をブラッシングしてください。



- ・ 汚れたブラシ先端は、乾いた布で拭き取ってください。
- ・ 汚れが落ちにくい場合はブラシに水をつけてください。

**重要!**

- ・ グリットローラー清掃は、必ず樹脂ブラシで行ってください。布や紙などで拭くと凹凸部に繊維クズが付着してしまいます。また、硬い金属ブラシ等を使用すると、グリットローラーに傷を付けてしまい、正しくフィードできなくなります。
- ・ 水を使ってブラッシングした後は、不要なメディアをフィードさせて水気を取ってください。

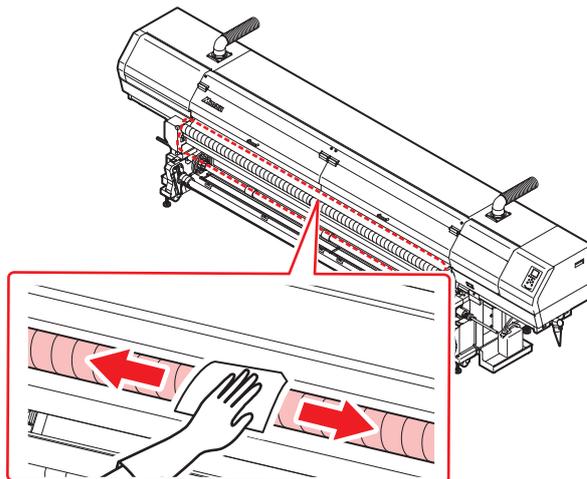
## ● ピンチローラーの場合

ピンチローラーの表面を布などで拭いて、インク汚れを除去する。



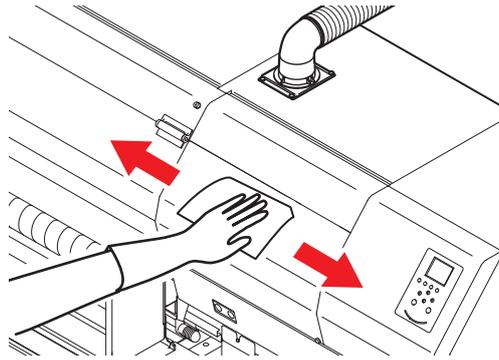
- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

## 引っぱりローラーの清掃



- ・ 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

## カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

## 長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

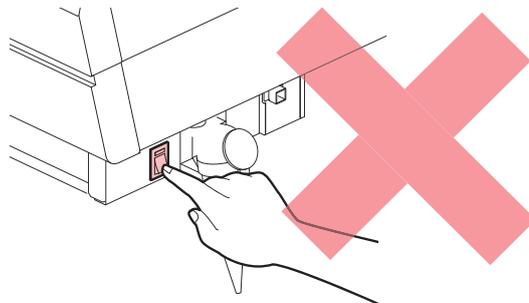
### 事前に確認してください

[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？

- 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- プラテン上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。



本機を使用しないときは、クランプレバーを上げて**ピンチローラーとグリットローラーを離してください。**

- ピンチローラーを下げたまま放置すると、ピンチローラーが変形して、メディアを正常にフィードできなくなるおそれがあります
- メディアをセットしたまま放置すると、メディアがピンチローラーに押しつぶされて、ピンチローラー跡が残る原因になります。



- 本機の左右に設置した廃インクタンクのインクを捨ててください。  
☞ 「[廃インクタンクの交換](#)」（P. 44）



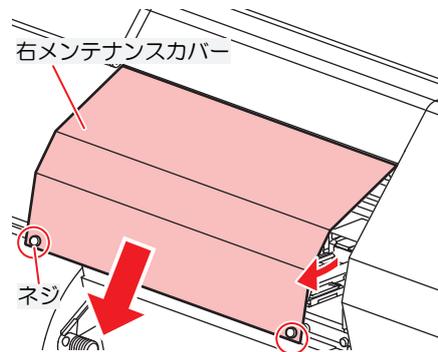
・フラッシングユニットを清掃してください。☞ 「フラッシングユニットの清掃」 (P. 12)

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
- 4 キャップゴムを清掃する。
  - ・☞ 「キャップゴムの清掃」 (P. 8)
- 5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。
  - ・キャップにメンテナンス液が満たされます。



・カバーを閉じてください。カバーが開いたままでは、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

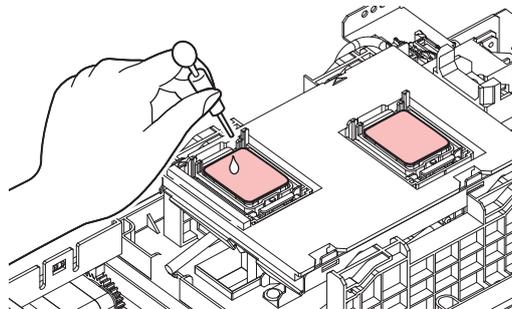
- 6 右側のメンテナンスカバーを開く。
  - (1) 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
  - (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。



・キャップいっぱいメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



・メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



- 7 メンテナンスカバーを閉じる。

### 8 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

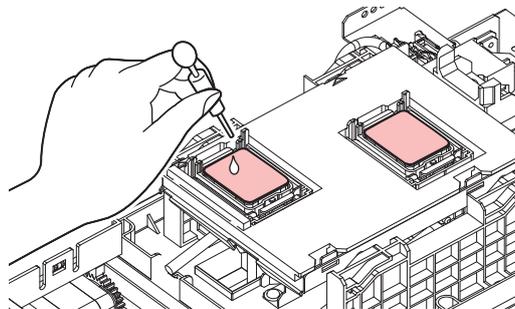
- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

### 9 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップの半分程度メンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。



- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。



### 10 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

## 3. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト (<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>) にてご覧になれます。



- ・ 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- ・ 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

### 消耗品を交換するタイミング

タイミング	項目
汚れていたら	<ul style="list-style-type: none"> <li> 「ステーション周辺の吸収材の交換」 (P. 29)</li> <li> 「排気ファンフィルターの交換」 (P. 32)</li> <li> 「フラッシングユニットの吸収材の交換」 (P. 33)</li> <li> 「ワイパーの交換」 (P. 24)</li> </ul>
吐出不良が直らないとき	<ul style="list-style-type: none"> <li> 「キャップの交換」 (P. 27)</li> <li> 「ワイパーの交換」 (P. 24)</li> </ul>
破損があるとき	<ul style="list-style-type: none"> <li> 「ワイパーの交換」 (P. 24)</li> <li> 「キャップの交換」 (P. 27)</li> <li> 「ピンチローラーの交換」 (P. 36)</li> <li> 「メディア押さえ、布押さえの交換」 (P. 37)</li> </ul>
インクを交換するとき	<ul style="list-style-type: none"> <li> 「インク供給ユニットのインク吸収材の交換」 (P. 43)</li> </ul>
ディスプレイに“ワイパーの交換”が表示されたら	<ul style="list-style-type: none"> <li> 「ワイパーの交換」 (P. 24)</li> </ul>
ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されたら	<ul style="list-style-type: none"> <li> 「廃インクタンクの交換」 (P. 44)</li> </ul>
1年に1度	<ul style="list-style-type: none"> <li> 「ワイパークリーナーの交換」 (P. 25)</li> </ul>

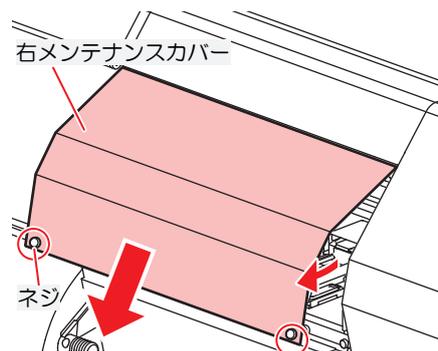
## ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに“ワイパー交換”が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

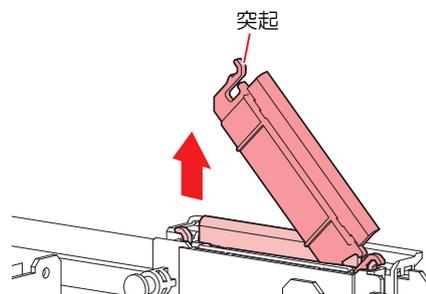
プリントヘッドの高さによって、使用するワイパーが異なります。

レンジ	ワイパー種類
Low (推奨)	ワイパーキット (SPC-0843 / ゴム色 : 青)
Middle	
High	HiGap用ワイパーキット (SPC-0850 / ゴム色 : 黒)

- 1 ディスプレイに“ワイパー交換”が表示される。
- 2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 4 右側のメンテナンスカバーを開く。
  - (1) 右メンテナンスカバー下のネジ (2箇所) を左に回して取り外す。
  - (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。

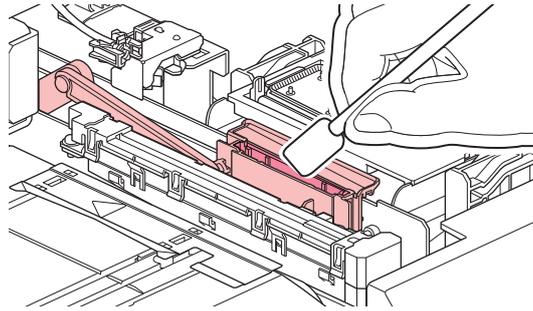


- 5 ワイパーを外す。
  - ・ ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。

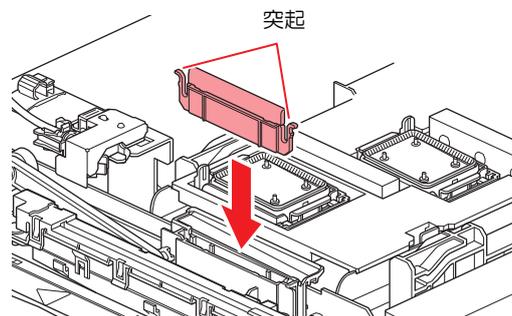


## 6 ワイパーライダーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



## 7 新しいワイパーをセットする。



## 8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ワイパーの使用回数が初期化されます。

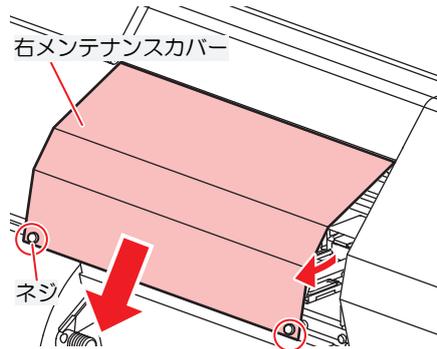
## ワイパークリーナーの交換

1年に一度、新しいワイパークリーナー（SPC-0243）に交換してください。

- ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - メンテナンスメニューが表示されます。
- [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - キャリッジがプラテン上に移動します。

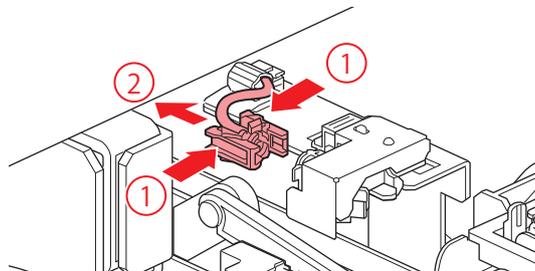
### 3 右側のメンテナンスカバーを開く。

- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。



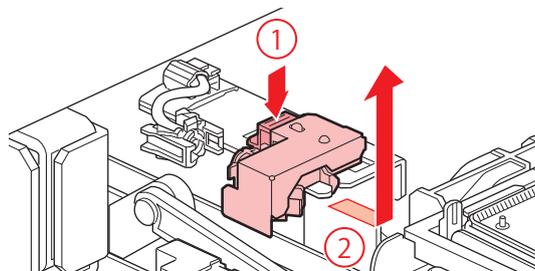
### 4 フィッティングを外す。

- フィッティングの突起を持って、引き抜きます。
- シールゴムの紛失に注意してください。



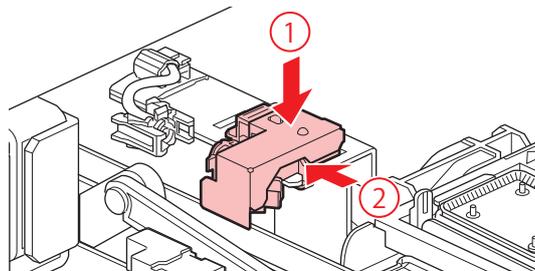
### 5 ワイパークリーナーを外す。

- 手前に引いて外します。



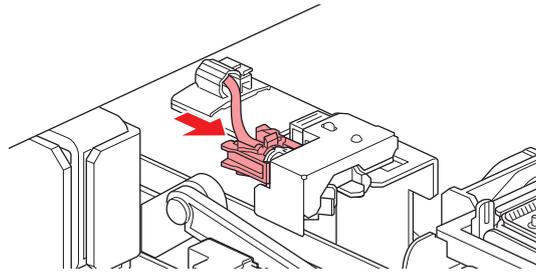
### 6 新しいワイパークリーナーをセットする。

- 奥にスライドさせて取り付けます。



## 7 フィッティングを付ける。

- ・ 正しく装着していないと、メンテナンス液が漏れるおそれがあります。



## 8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

### キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。



- ・ キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



- ・ 長期間使用するとキャップ表面が乾燥し経路が詰まりやすくなります。その場合はキャップを交換するか外して丸洗いしてください。



- ・ 6か月～12か月ごとにキャップの交換をお勧めします。

## 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

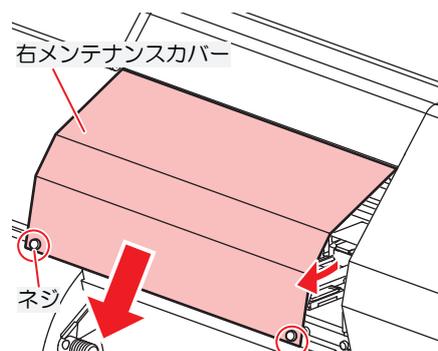
- ・ メンテナンスメニューが表示されます。

## 2 [ステーションメンテ] > [キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ・ キャリッジがプラテン上に移動します。

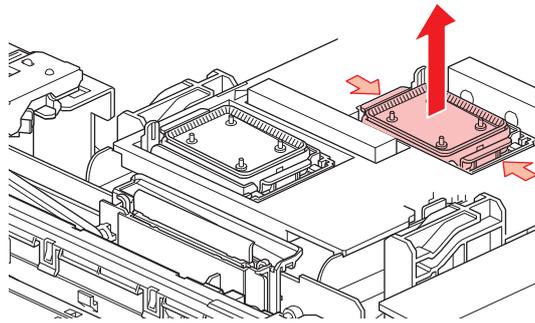
## 3 右側のメンテナンスカバーを開く。

- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。

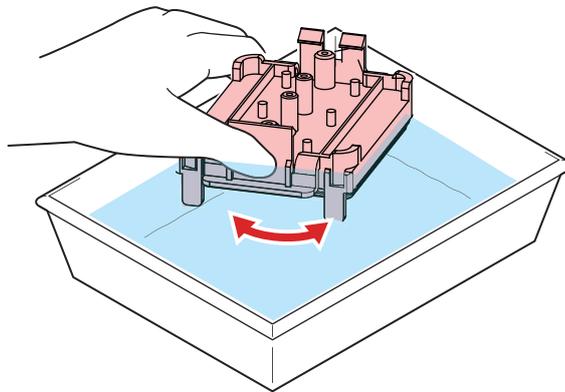


**4** キャップを外す。

- キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。

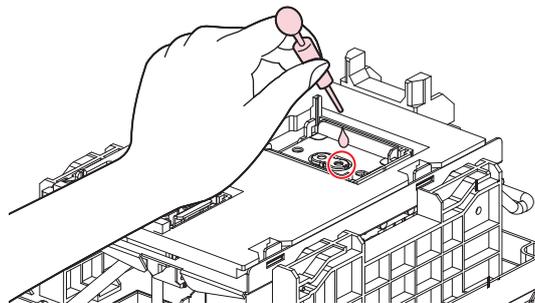


**5** メンテナンス液を溜めた容器でキャップのメッシュの面を下にしてゆすいでください。取り出したら樹脂部分はしっかりと拭き取ってください。



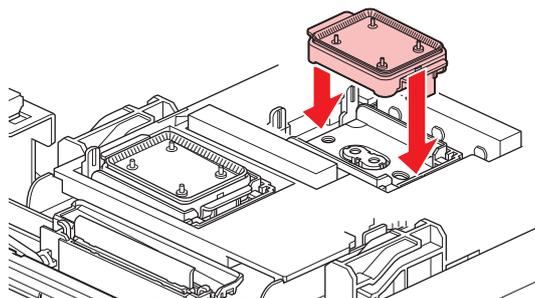
**6** メンテナンス液を塗布する。

- スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



**7** 新しいキャップ、または丸洗いしたキャップをセットする。

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。

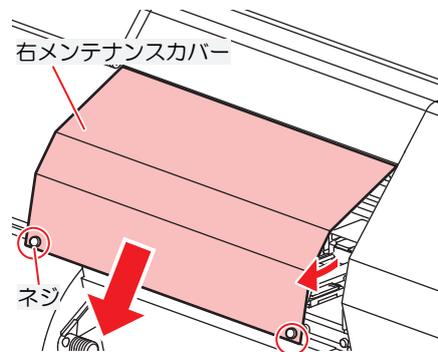


8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

## ステーション周辺の吸収材の交換

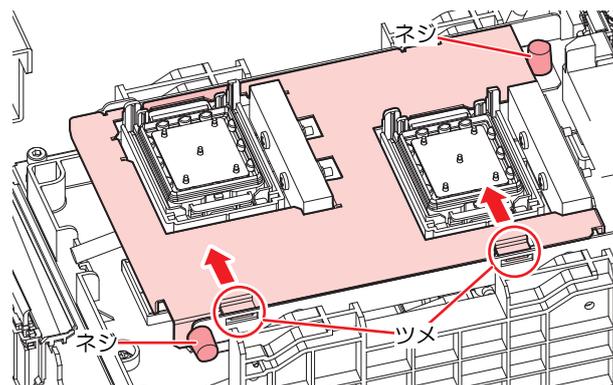
キャップ吸収材やメンテナンス液吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

- 1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。
  - ・ キャリッジがプラテン上に移動します。
- 3 右側のメンテナンスカバーを開く。
  - (1) 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
  - (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。

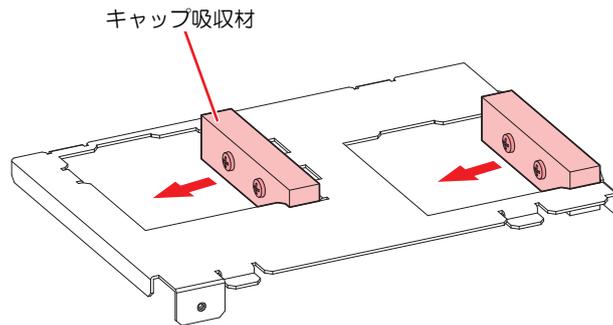


4 ネジ（x2）を外して、キャップカバーを外す。

- ・ 奥に押して、手前のツメを外します。



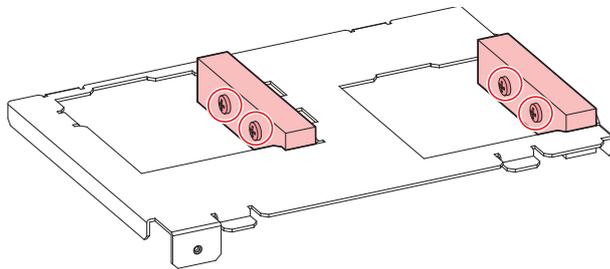
**5** キャップカバーからキャップ吸収材を外す。



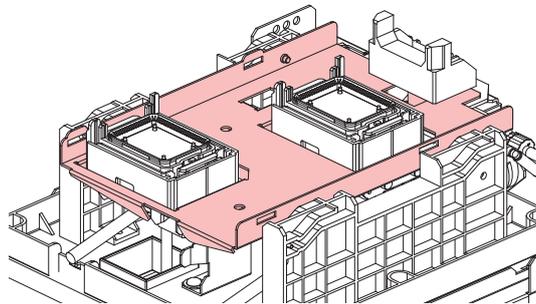
・ キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

**6** キャップカバーに新しいキャップ吸収材をセットする。

・ 突起にしっかり挿し込んでください。

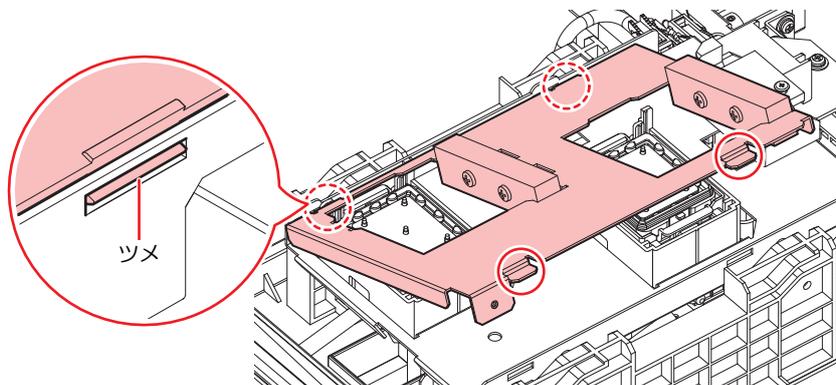


**7** キャップベースを清掃する。

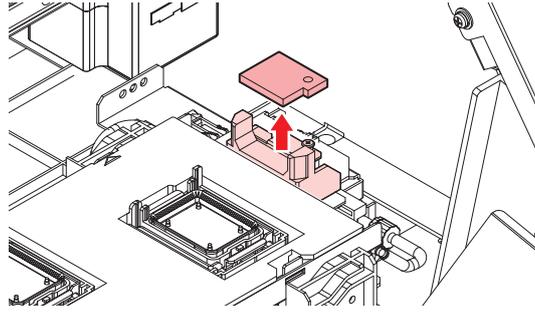


**8** キャップカバーをセットする。

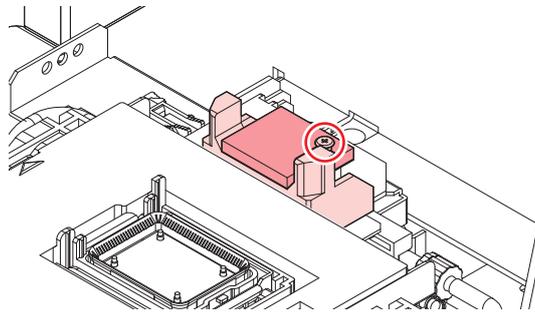
・ スライダーの奥側のスリットにキャップカバーのツメを挿し込んでから、手前のツメを差し込んでください。



**9** ネジ (x2) を付けて、キャップカバーを固定する。

**10** メンテナンス液吸収材を外す。**11** スライダーブロック周辺のメンテナンス液を拭き取る。**12** 新しいメンテナンス液吸収材をセットする。

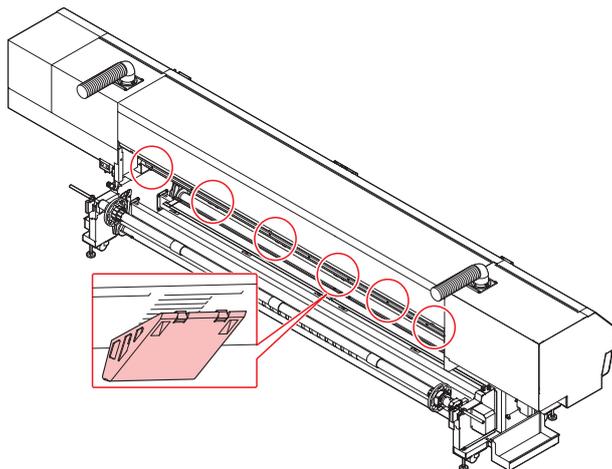
- 突起にしっかり挿し込んでください。

**13** 吸収材が浮いていたり、反っていたりしていないかどうかを確認する。**14** 交換が終わったら、ワイパーを手動で奥に戻す。**15** メンテナンスカバーを閉じて、電源を入れる。

- キャリッジがステーションに戻ることを確認してください。

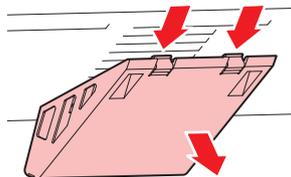
## 排気ファンフィルターの交換

排気ファンフィルターの状態を確認して、汚れが激しいときは交換してください。



### 1 排気ファンBOXを外す。

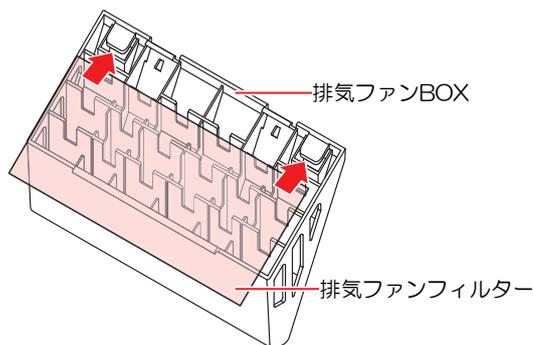
- 手前のツメを押して外します。



- 排気ファンBOXの汚れが激しいときは、新しい排気ファンBOXに交換してください。

### 2 排気ファンBOXに新しい排気ファンフィルターをセットする。

- 排気ファンBOXのツメのすき間に排気ファンフィルターを挿し込みます。

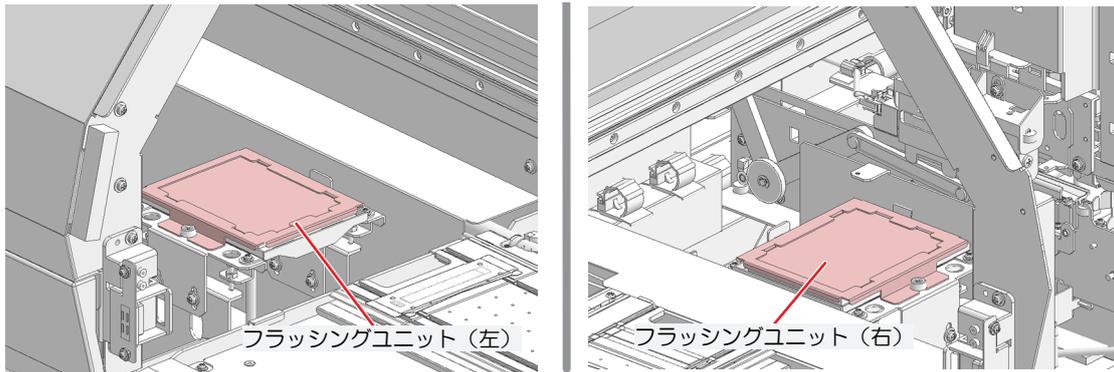


### 3 排気ファンBOXをセットする。

- 本機のスリットに排気ファンBOXのツメを挿し込んでから、手前のツメをはめ込んでください。

## フラッシングユニットの吸収材の交換

フラッシングユニット（左右各1）の吸収材の汚れが激しい場合は、新しい吸収材に交換してください。



品番	品名
SPC-0813	フラッシングボックス吸収材交換キット



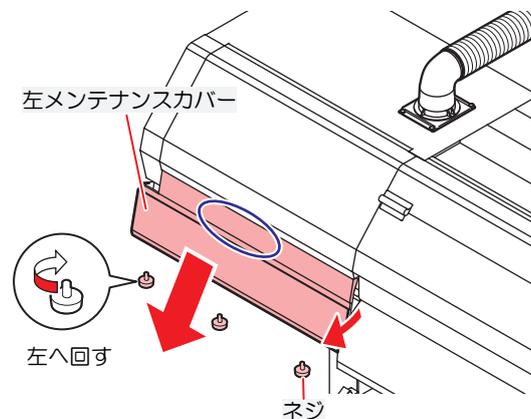
- フラッシングボックス吸収材交換キットに同梱されているスポンジ（吸収材）は、105mmx78mmにカットして使用してください。



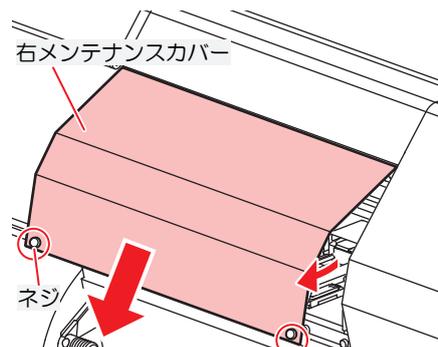
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

### 1 左右のメンテナンスカバーを開く。

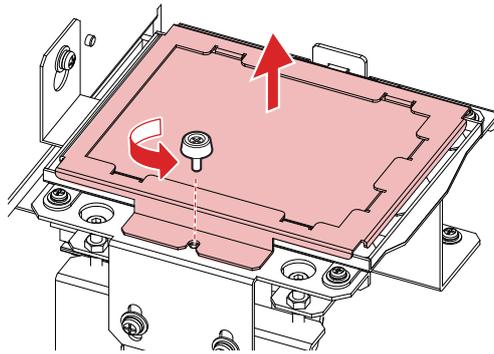
- 左メンテナンスカバー下のネジ（3箇所）を左に回して取り外す。
- メンテナンスカバーの下側を持ち、青丸部分を押し、下から手前に引くようにして取り外す。



- 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
- メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。

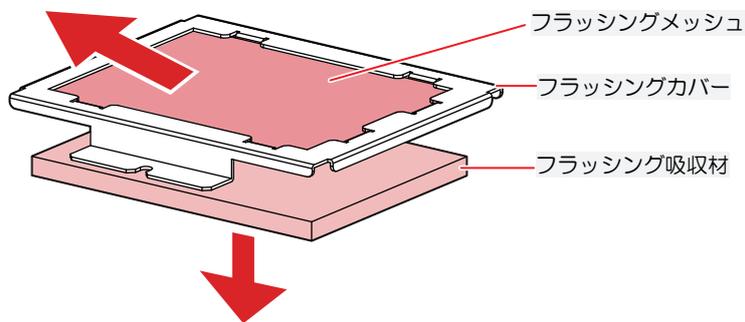


2 フラッシングカバーをフラッシングメッシュとフラッシング吸収材ごと取り外す。(ネジx1)



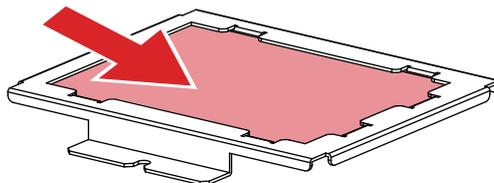
3 フラッシングカバーからフラッシングメッシュとフラッシング吸収材を外す。

- フラッシングメッシュは図の矢印の方向にスライドして外してください。
- フラッシング吸収材は下に引いて外してください。

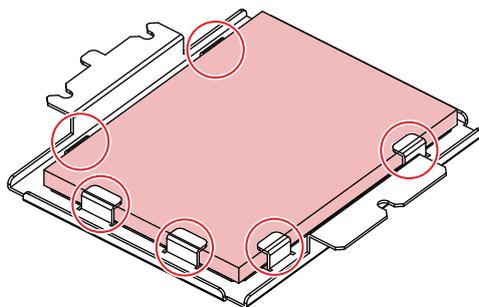


• 吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

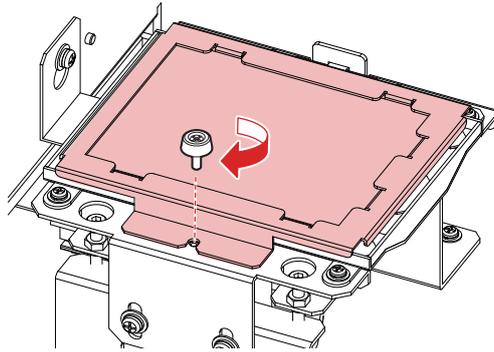
4 フラッシングメッシュを外した時と反対方向にスライドして差し込み、フラッシングカバーにセットする。



5 新しいフラッシング吸収材をフラッシングカバーにセットする。(ツメ6か所)



- 6 フラッシングインク受けにフラッシング吸収材をセットしたフラッシングカバーを固定する。(ネジx1)



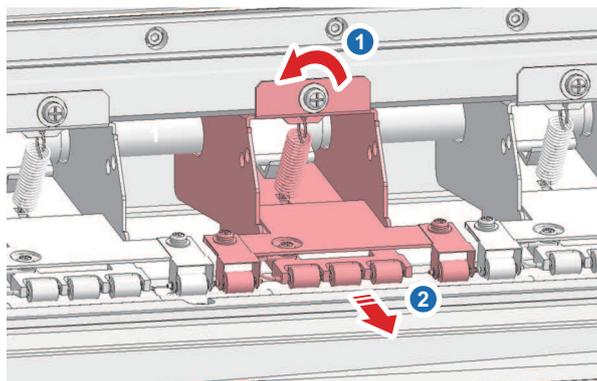
## ピンチローラーの交換

ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。

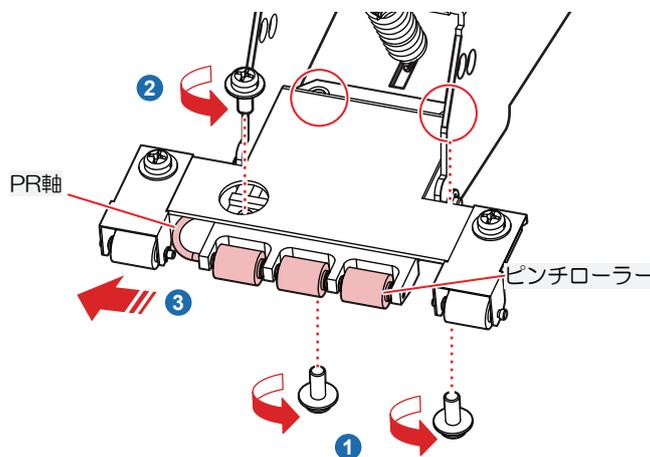


- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

- 1 正面カバーを開く。
- 2 クランプレバーを上げる。
- 3 クランプホルダーごと外す。(ネジx1)



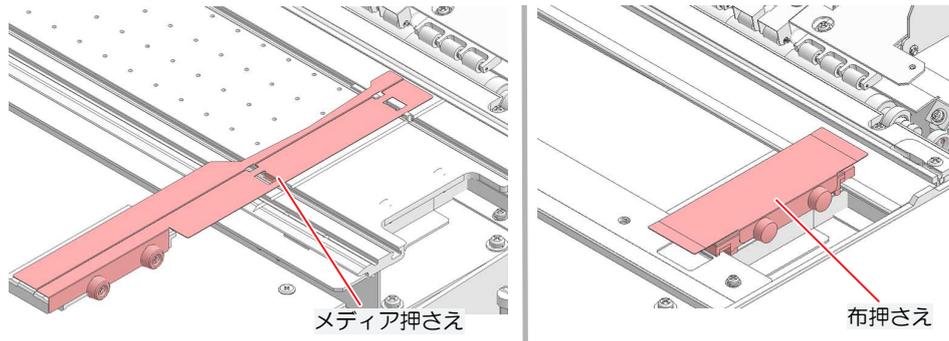
- 4 PR軸を外す。
  - (1) ネジを外す。(2箇所)
  - (2) ネジを外す。(1箇所)
  - (3) PR軸を外す。



- 5 新しいピンチローラーをセットして、逆の手順で元に戻す。
- 6 クランプホルダーを固定する。
- 7 正面カバーを閉じる。

## メディア押さえ、布押さえの交換

メディア押さえ、布押さえが変形して、キャリッジやプリントヘッドに接触する場合は、新しいメディア押さえ、布押さえに交換してください。



- ・ 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

### ● メディア押さえの場合

左側のメディア押さえの交換方法です。右側も同様の手順で交換してください。

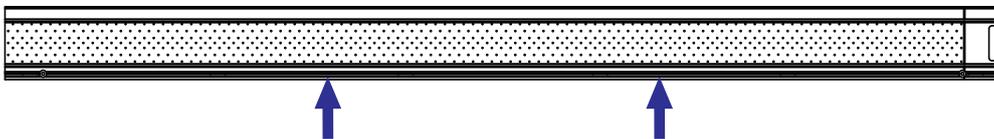
**1** 正面カバーを開く。

**2** 脱着プラテンを持ち上げる。

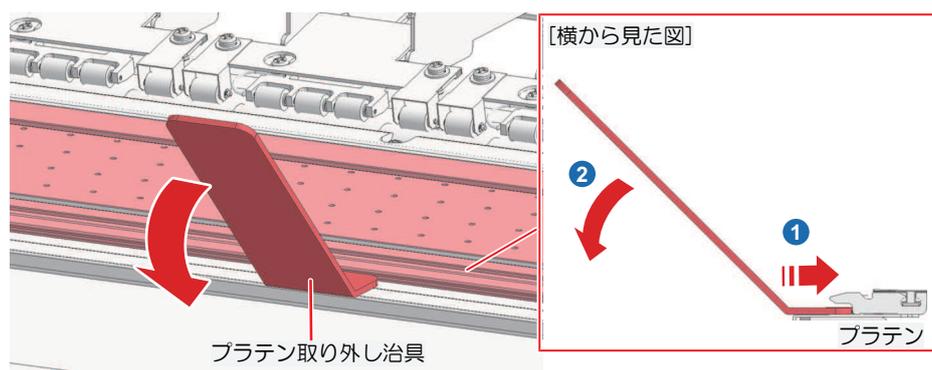
- ・ 脱着プラテンは磁石で強く固定されているため、以下の方法で持ち上げてください。

(1) 本体と脱着プラテンの間に付属のプラテン取り外し治具(x2)を差し込みます。

[プラテン取り外し治具 差し込み位置]



(2) 脱着プラテンを押し上げてから持ち上げます。

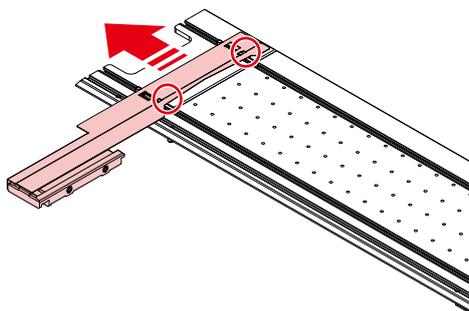


- ・ マグネットで固定されているので、跳ね上げに注意してください。
- ・ プラテン取り外し治具を差し込むときは無理に力を加えないでください。部品が破損するおそれがあります。

**3** 持ち上げた脱着プラテンを手前に引いて、リアプラテンから外す。

**4** プラテンからメディア押さえを取り外す。

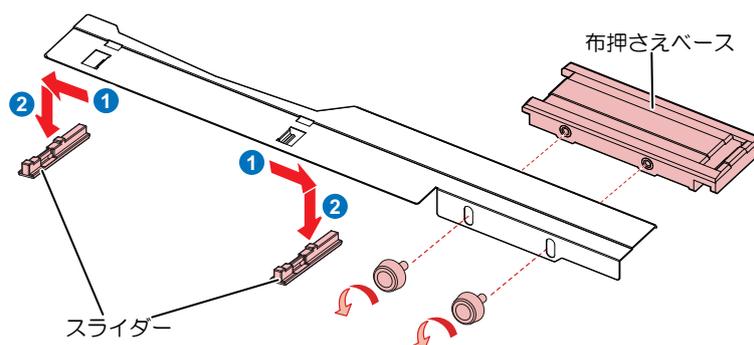
- 赤丸部分の間を押し、左端にスライドさせて取り外します。



- メディア押さえのプラテンから出ている部分を持って、スライドしないでください。メディア押さえが変形する恐れがあります。

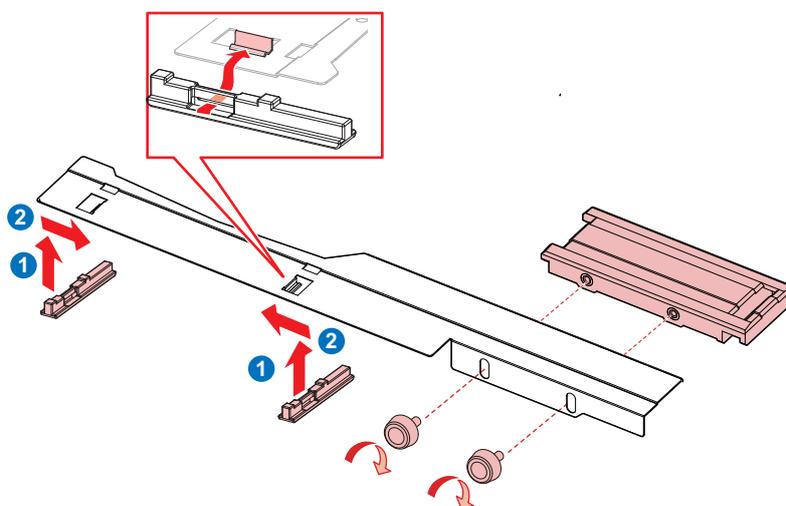
**5** メディア押さえから、スライダーと布押さえベース（ネジx2）を外す。

- 外したスライダー、布押さえベース、ネジは紛失しないように注意してください。

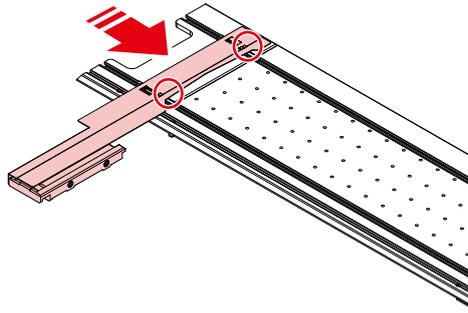


**6** 新しいメディア押さえに、スライダー、布押さえベース（ネジx2）をセットする。

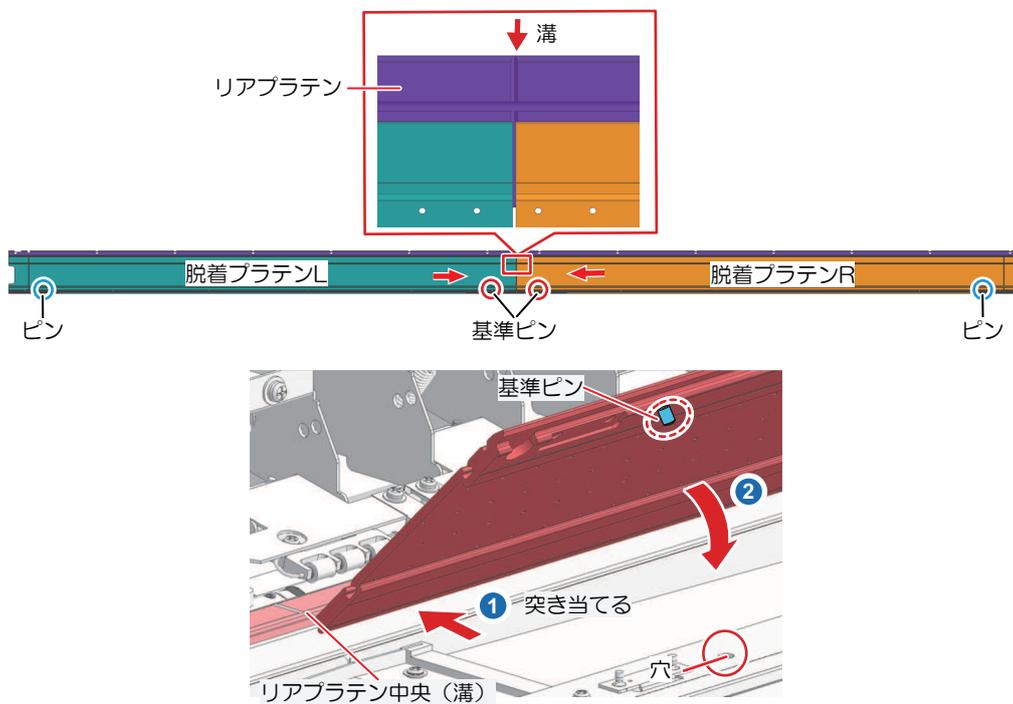
- メディア押さえの突起にスライダーの穴を引っ掛けます。



## 7 プラテンに新しいメディア押さえをセットする。



## 8 脱着プラテンの先をリアプラテンの中央の溝に突き当て、中央にある基準ピンをインクガードFまたは、プラテンフレームの穴に確実に合わせてはめ込みます。



- 突き当てるときに、紙片や糸くずが挟まらないように注意してください。
- 紙片や糸くずがある場合は取り除いてから作業してください。

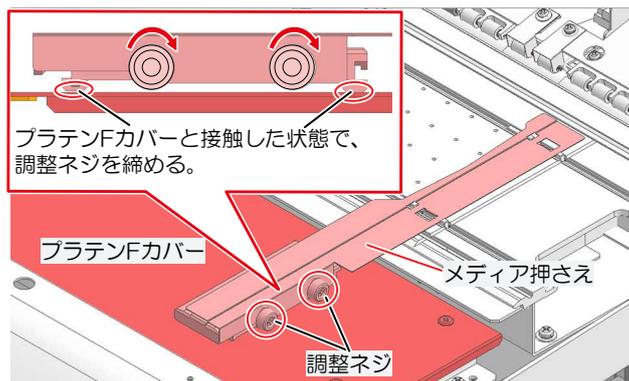


- 脱着プラテンが確実に設置され、浮いてないことを確認してください。
- 脱着プラテン設置後、プラテンが汚れている場合は清掃を実施してください。☞ 「プラテン、プラテンワイヤーの清掃」 (P. 18)



- 脱着プラテンの磁力が強力なため、取り付け時に指など挟まないように注意してください。
- メディア押さえがひかからないように注意して取り付けてください。

- 9 メディア押さえの高さ調整ネジ (x2) を緩め、プラテンFカバーと接触した状態で、調整ネジを締める。

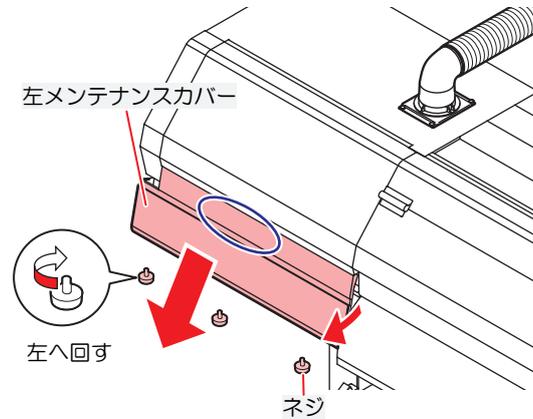


- 10 正面カバーを閉じる。

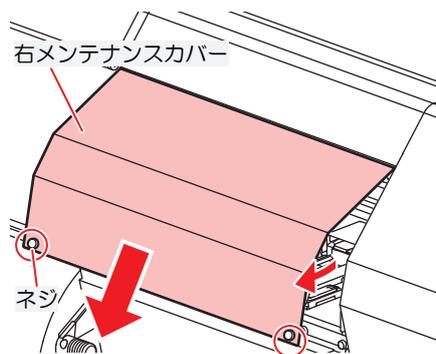
## ● 布押さえの場合

## 1 左右のメンテナンスカバーを開く。

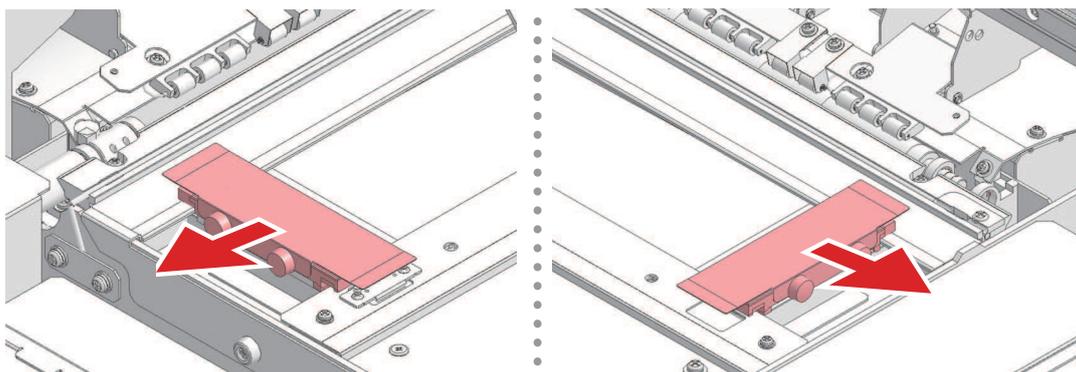
- (1) 左メンテナンスカバー下のネジ（3箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、青丸部分を押し、下から手前に引くようにして取り外す。



- (1) 右メンテナンスカバー下のネジ（2箇所）を左に回して取り外す。
- (2) メンテナンスカバーの下側を持ち、下から手前に引くようにして取り外す。

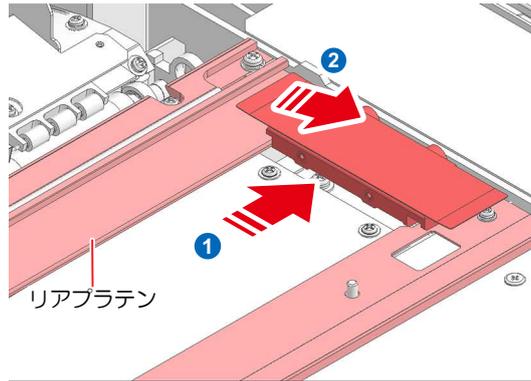


## 2 布押さえ（R/L）を取り外す。

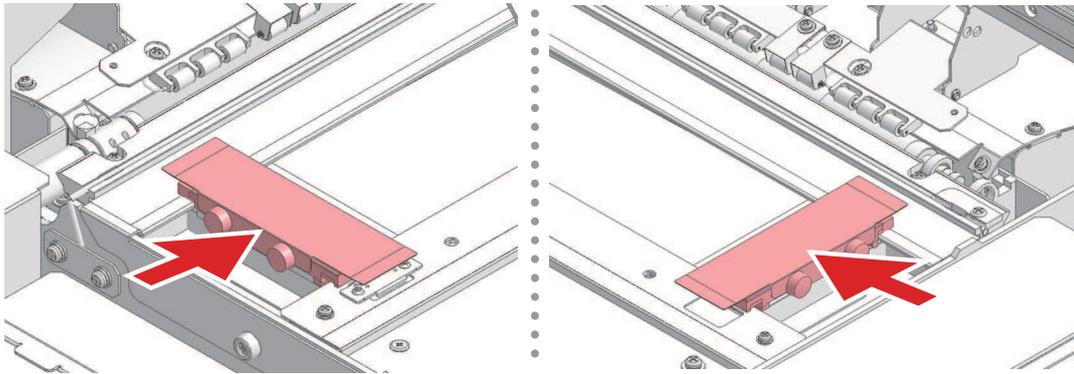




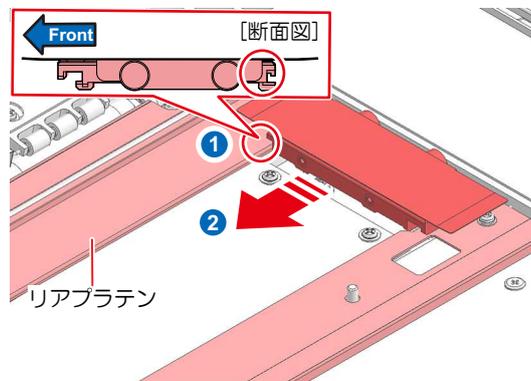
- 布押さえは、リアプラテンの一番端まで移動してから、手前上に持ち上げて取り外します。



### 3 新しい布押さえ (R/L) をセットする。



- 布押さえの取り付けは、リアプラテンに布押さえの後方にあるフックを引っ掛けてから、横にスライドさせます。



- 布押さえ (R/L) の向きに注意してください。ネジが外側になるように取り付けてください。また、布押さえ前後で形状も異なりますので、注意してください。

### 4 メンテナンスカバーを閉じる。

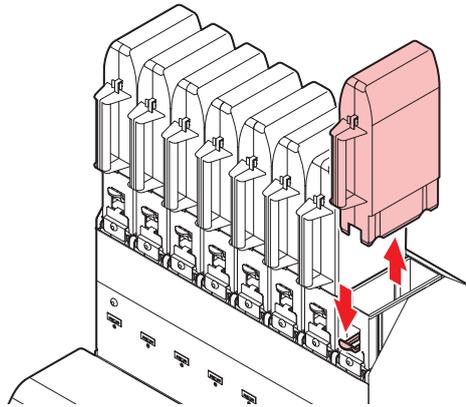
## インク供給ユニットのインク吸収材の交換

インク供給ユニットの台座の汚れを防止するために、インクパックを交換するたびにインク吸収材の交換をお勧めします。

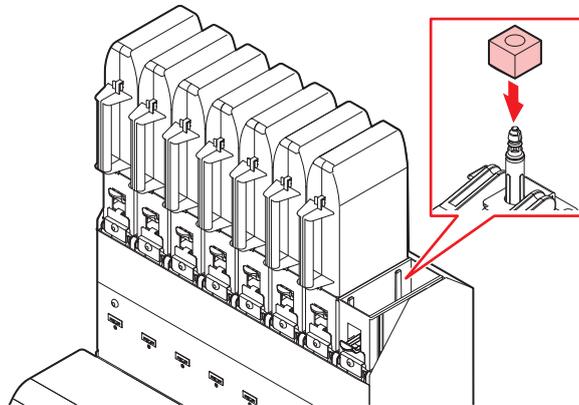


- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりのおそれがあります。

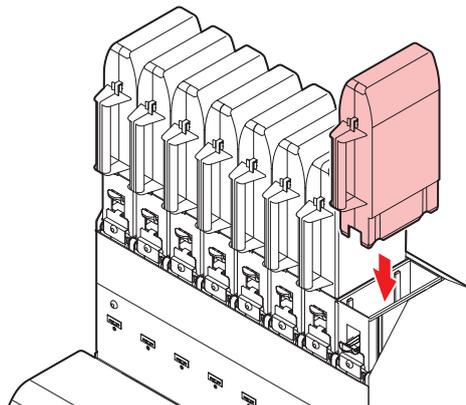
### 1 台座のレバーを押し下げて、インクエコケースを外す。



### 2 吸収材を外して、新しい吸収材をセットする。



### 3 台座にエコケースをセットする。



## 廃インクタンクの交換

プリントやヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機左右にある廃インクタンクにたまります。



- ・ 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったおそれがあります。



### メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

#### 1 ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示される。

廃インクタンク確認



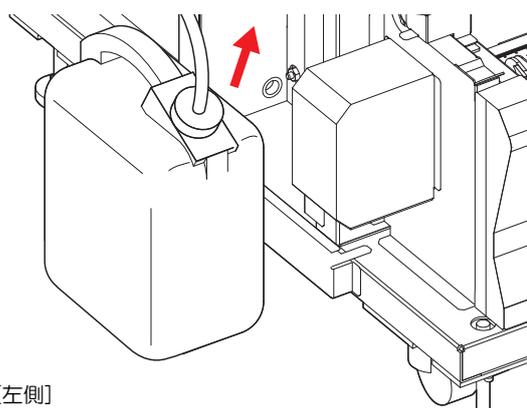
- ・ メッセージは、7日に1回表示されます。

### 廃インクタンクを交換する

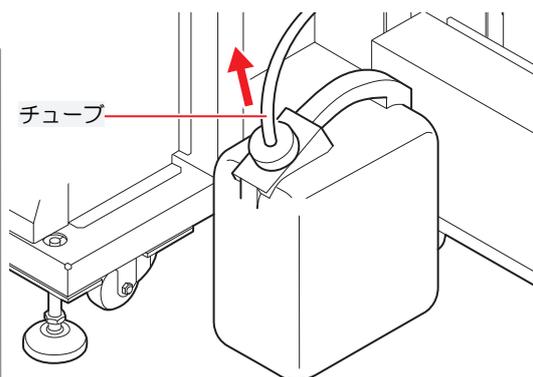
#### 1 廃インクタンク（左右各1）を取り出す。

- ・ 廃インクタンクに差し込んであるチューブを抜き、廃インクタンクを取り出します。

**重要!** ・ チューブを抜くとき、先端からインクが垂れるおそれがあります。チューブをウエス等で拭き、先端を包んでから作業を行ってください。



[左側]



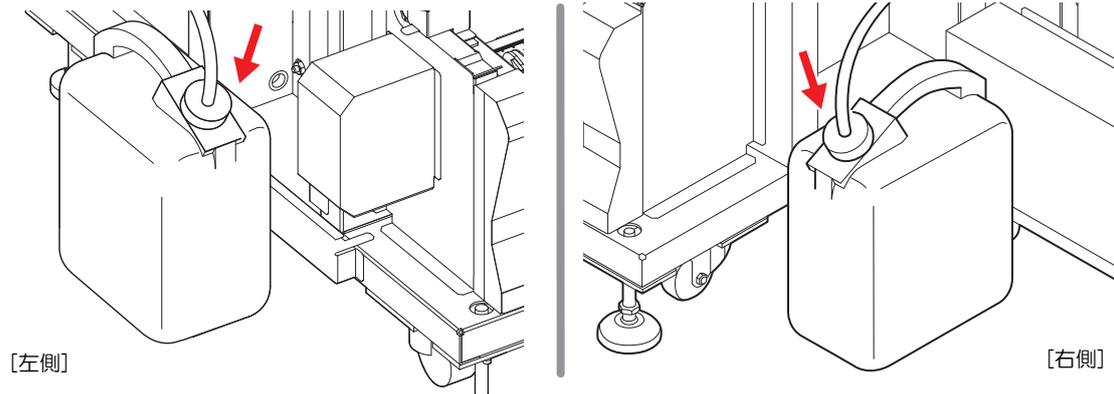
[右側]

#### 2 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。



- ・ インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

### 3 新しい廃インクタンク（左右各1）に差し込んであったチューブ（左2本、右6本）を元に戻す。



- 左側：チューブ本数 2本（フラッシングユニットから1本、インク溝インク受けから1本）
- 右側：チューブ本数 6本（フラッシングユニットから1本、インク溝インク受けから1本、吸引ポンプから2本、ステーションから1本、ワイパーから1本）

### 4 [ENTER]キーを押す。



## お手入れのお願い

2024年11月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング  
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング  
〒389-0512  
長野県東御市滋野乙2182-3

